

財團法人協調會大阪支所
 昭和二十一年八月二十一日
 労働運動の現状と将来
 労働運動の現状は、戦後を通じて、概して、急激な発展を遂げ、その勢力は、戦前とは比較して、著しく増大した。これは、戦時中の労働運動の発展と、戦後の労働運動の発展とを比較して、明らかである。戦時中の労働運動は、戦前の労働運動と異なり、戦時中の労働運動は、戦前の労働運動よりも、著しく発展した。これは、戦時中の労働運動の発展と、戦後の労働運動の発展とを比較して、明らかである。戦時中の労働運動は、戦前の労働運動と異なり、戦時中の労働運動は、戦前の労働運動よりも、著しく発展した。これは、戦時中の労働運動の発展と、戦後の労働運動の発展とを比較して、明らかである。

財團法人協調會大阪支所

木村錠吉

ならばぬ。好況時代に吾々が團結した運動力を示すと資本家は何より怖しがかる。是れは必然の事である。吾々が斯くする事に依つて資本家の利潤を減殺せしむる事が出来るのである。吾々の地歩を資本城により一歩深く喰込む事が出来るのである。

「私は近頃労働運動の方向が、或る人々等の識つた考から二つに分れる。一は左傾的思想で居るのである。實際労働運動と云ふものは、即ち政治的色彩を帯びて、政治的権力を握つて経済的行動を改造せんとする一派と、飽く迄實質的に着々と経済的行動の下に、現下の経済組織を改造せんとするの二つに分れる。組合一致で、何處迄も経済的行動を採る事にしてゐるが、他の一派は、政治的にやつて行かうと云ふ。所謂友愛會系の組合元來労働運動等は、政治的にやつて行かうと云ふ。然るに主義主張が異つて、どうして利害を一致せしむる事が出来るであらうか。根本主義主張も又同一でなければならぬ。是れ私の労働運動の前途の爲めに憂ふる所以である。労働運動の方針が著しく亂れて来た」と懸評されてゐる今日労働者階級は